鑛工要求、
四割増
第一、二十二日案
三十日、全部罷業

一要求

差額ヲ附ケン爲メニハレマーエノ歩合ヲ引キ下ゲテ区別ヲ立テラレンコトヲ會社側ニ要求セシモ會社側トシテハ給料ヲ引キ下ゲルコトハ不可能ナル故ニ其ノ困難ナルコトヲ職工側ニ說諭セシモ鑛工側ハ十月二十日更メテ鑛工ニ對シテ常用給（綜合額）ノ四割ヲ増加サレンコトヲ要求シテ二十一日、二十二日、再開（二十三日ハ日曜ナル故ニ休業）怠業状態ニ陥レリ二十四日二十五日ニ至リ會社ノ他ノ工場モ勞技會幹部ノ指揮ニヨリテ同様怠業ニ陥リタリ同幹部等ハ午後三時頃後藤秀左衛門以下七人ノ代表員（皆平職工ナリ）ヲ擬定シテ（一）常用給ニ四割増、（二）請負一割増（三）工場設

財團法人協調會